

学生優秀賞



いぶりがっこ

【秋田県大仙市】有限会社 弥栄



Concept

首都圏の客層をターゲットに、こだわりの商品を積極的に買い求めてもらいたいということで、特徴的な梱包と高級感のあるデザインにすることを前提にパッケージを作成しました。手間のかからない簡単な包装にすることでコストを抑えつつ、昔のビール瓶のラベルをイメージしたデザインを施すことで、ビール酵母漬けであることを表しながら見た目が安っぽくならないようにしました。現代風ではなくレトロ風を目指したのは、レトロなデザインの手作り感がモノづくりへのこだわりを連想させるというねらいもあります。変更の希望があった商品名には、覚えてもらいやすいような響きのよさとびあ (beer) とがっこ (漬物) という分かりやすさを兼ねたネーミングにしました。シリーズ化も検討しているということで、同様のイメージをのこしつつ、シリーズであることが分かりやすいネーミング、それぞれのイメージに合った紙の色や意匠をいれたものも作成しました。



山根 冬弥 Toya Yamane

[岩手/学生] 盛岡情報ビジネス専門学校

1997年生まれ。岩手県宮古市出身。

盛岡情報ビジネス専門学校総合デザイン科在籍。グラフィックデザインを専攻し勉強中。

学生優秀賞



新・ふくれせんべい (仮)

【福島県会津若松市】株式会社 長門屋本店



Concept

ふくれせんべいのパッケージを作る上で、会津若松の地域性と原材料をアピールしつつ商品であるせんべいの特徴を伝えられるようにしました。会津産こがねもちのお米の形をベースに、会津若松の特産品や会津絵の模様を付けたデザインで、ターゲットである女性に「かわいい」と思ってもらえるよう、全体的に丸くて手描き感のある感じにしました。商品名は少し長めで「会津産こがねもちのヘルシーなふくれせんべい」です。会津産であること、ヘルシーなせんべいであることを知ってもらえるように、文章のような商品名にしました。字は、手作りで製造されているせんべい本体の素朴さをイメージしています。



角田 千祐 Chihiro Tsunoda

[新潟/学生] 長岡造形大学

1996年8月20日生まれ。長野県出身。

長岡造形大学デザイン伝達コース所属の3年生。

パッケージデザインを中心に広告のデザインなどを勉強中。



新・ふくれせんべい（仮）

【福島県会津若松市】株式会社 長門屋本店



Concept

私が今回重視したのは「若い女性が手に取りたくなるようなデザインを希望」という会社の希望です。女性の好みそうなカラーを選び、好みに合わせて箱も選べるように赤、青、黄色と3種類用意しました。ふくれせんべいの形自体も可愛いと思ったので、シルエットにし全体に配置しました。裏面にふくれせんべいの食べ方や魅力を簡潔に表記することで、パッケージを見て手に取ってくれた方が裏面を見た時に、このふくれせんべいがどのような商品か、すぐにわかるようにしました。



安食 桃子 Momoko Ajiki

[新潟/学生] 長岡造形大学

1996年福島県須賀川市生まれ。

長岡造形大学視覚デザイン学科在学中。様々な表現方法でグラフィックデザインについて学習中。



宮城のゆず※ゆず入り笹かまぼこ

【宮城県塩釜市】株式会社 武田の笹かまぼこ



Concept

ゆずのキャラクターをメインとしたデザインです。20代～40代の宮城県在住の女性が、他府県にお土産として持って行きたくなるようなお洒落で可愛いデザインをご提案致します。外箱：塩釜市が日本有数の漁港を中心とする港町ということから、船をモチーフと致しました。小包装：ゆずキャラがオールを持っているデザインと、蒲鉾に必要な魚を持っているデザインです。小包装には宮城弁を入れることでお土産としての価値を高めます。形状に関しましては、「持って帰りやすい、持って行きやすい」を重要視した軽量タイプの容器にし、個数も減らしました。（現代の家族構成や、食べ切りを考慮）また、笹かまの特徴的な形が隠れないように工夫致しました。ゆずの爽やかな黄色、海の鮮やかな青が目を引くデザインです。



安福 桐子 Touko Yasufuku

[東京/一般] 株式会社サトー

1991年生まれ。大阪府出身。2012年京都嵯峨芸術短期大学部卒業、同年サトーHDに入社。

現在はデザインプロモーション部でマーケティングに基づいた『商品パッケージ』のディレクション及びデザイン担当。



通のカレー※庄内豚バラ軟骨カレー

【山形県東田川郡庄内町】 有限会社 マルハ産業



Concept

ヒアリングシートを読ませていただき以下のことを念頭に製作いたしました。

- ・印象に残った、豚肉の大きさを前面に。
 - ・山形のローカル感。
 - ・写真のシズルではない美味しさ。
 - ・新しさと食の安心感
- 少しづつ広まっていき、長生きする商品になったらと思います。



角田 正之 Masashi Tsunoda

[新潟/一般] 岩橋印刷株式会社

1984年新潟県出身・長岡造形大学卒。グラフィックデザイナー。

HB FILE COMPETITION Vol.24 大賞 仲條正義賞。新潟ADC 2017 嶋浩一郎賞。



うに缶

【岩手県九戸郡洋野町】 株式会社 宏八屋



Concept

「うに」のアイコンがアイキャッチとなるように表現したパッケージにしました。20代~40代の女性をターゲットにし、全体的にシンプルできれいなデザインにしました。シンプルにアイコンの「うに」を表現し、北三陸の素朴さとうに高級珍味をかすれたスタンプ風に表現しました。また、口の中に入れた時に広がる旨味と風味をパッケージにも表現できないかと思い、パッケージの箱を開けた際にはパッと目を引くオレンジのパターンをあしらいました。また、見た目も美しく、女性が女子会などでお洒落に楽しく食べていただけるようにしました。アワビなどのシリーズ展開していく際には、海産物によって基調とするカラーを変えていき、メインとなるアイコンを変えるイメージで制作しました。



岡崎 菜央 Nao Okazaki

[東京/一般] 株式会社 Dynamite Brothers Syndicate

1992年生まれ。北海道出身。

北海道教育大学岩見沢校卒業。株式会社 Dynamite Brothers Syndicate入社。

ASIAN CREATIVE AWARDS vol.1 ONE MAGAZINE賞、北海道おいしいパッケージ展2016入選。

審査委員賞（左合ひとみ賞）



うに缶

【岩手県九戸郡洋野町】株式会社 宏八屋



Concept

一缶2,800円という高級品であるため、高級感のあるパッケージを心がけデザインしました。まずは、箱をギフトのような化粧箱にし、うにを表現した黒と橙の2色で作成。さらに巻紙にすることで、高級感を演出します。巻紙には、うにの身を抽象化した文様を使用し、全体的に要素をできるだけ少なくすることで、シンプルでインパクトのある佇まいにしました。今後、3缶入りの場合外箱のみを変更することで展開が可能になります。



カトウ マサタカ Masataka Kato

[北海道/一般] ブルードッグ・グラフィック

北海道札幌市出身。アートディレクター／グラフィックデザイナー。

2003年ブルードッグ・グラフィック設立。国内外での経験を活かし、平面から立体まで幅広い分野で活動。JAGDA会員。

審査委員賞（福島治賞）



熟成黒にんにく

【青森県弘前市】合同会社 カネジン金木屋



Concept

佇まいとして高級チョコレートのイメージでシンプルに黒と白の2色で制作しました。デザイン要素として、まずBLACK GARLIC（黒にんにく）の頭文字の「B」と「G」を力強い形で表現しました。そしてにんにくの形を宝石（ダイヤモンド）に見立て、パッケージの上部に配置しました。また田子産であることと、にんにくのイメージを払しょくするためにSWEET & MILDという言葉を追加しました。パッケージ中身は、やはり少し匂いが気になったので、密閉された状態にして、一つひとつがミシン目で切り離せるようにしました。



宮下 浩 Hiroshi Miyashita

[愛知/一般] 愛知産業大学

愛知県立芸術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。

デザインプロダクション、メーカー勤務を経て、現在、愛知産業大学造形学部デザイン学科准教授。JAGDA会員。